

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 麻生鳥のさえずり公園

第 21 号 2008 年 6 月 30 日発行 発行 ; 麻生多摩美の森の会
発行責任者 ; 勝田 政吾 編集者 ; 木村 信夫

初夏の麻生多摩美の森・・・樹木・草花の楽しみ 勝田佳代子

多摩美の森の初夏の観察会を行うために、5月26日に講師の高橋さんと森を回って、下見観察を行いました。

樹木と草原の植物に分けて、まずは樹木。白い可憐な花をつけるエゴノキは、もう花も残り少なくすでに青い実をつけているものもあります。関東の雑木林の代表格コナラは柔らかかった新緑の葉がだいぶ堅くなりました。



アカシデとイヌシデはすでにたくさんの果穂が下がっています。広場の中央にあるシンボルツリーのエノキもすでに実をたくさんつけています。林床にあるムラサキシキブは可愛いピンクの花が真っ盛り、上を見上げるとクマノミズキが白い花を一斉に空に向かって開かんとしているところです。多摩丘陵の代表的常緑樹シラカシとアラカシは赤みがかった新緑が緑を濃くし始めています。

草原の植物としては、よく知られているオオバコも虫眼鏡の世界から見ると可憐な白い花がたくさん並んでいます。シロツメクサ、



カタバミ、オオイヌノフグリなど色とりどりに咲き競っています。ミズタマソウ、トキワハゼ、キツネアザミなども見逃せない野の草花です。

まだまだたくさんの植物があり、改めて多摩美の森の植生の豊富さには感心しましたが、皆様も観察会当日に同じ感想を懐かれることと思います。

(5月31日に予定されていた観察会は雨天のため延期、6月28日に行なわれました。なお、上記の木々を含めて29樹種に2004年植樹祭で名札を付けています。一部補修の必要がありますが、名札付けした木のマップは、2004年「木の葉写真集」、2005年「木の花 木の実写真集」に記載しています。)

平成 20 年度 分科会の活動の計画と抱負

はじめに 会長 勝田政吾

当会では、森づくりの諸課題に応じた 5 つの分科会をつくり、会員各位の参加によって、それぞれ企画してもらって幹事会で討議し年間作業計画に折り込むことにしています。自然が相手の作業が多いために、時期がずれせないもの（植樹や農作業）を中心に実施計画を組んで行かねばならないという制約もあります。また今年度からは、年次総会のご挨拶でも申しましたように、森づくりの方向性についても考えていこうと思います。

そうしたことを踏まえて分科会担当幹事に抱負を含めて今年度やりたいことを書いていただきました。活動は会員全員参加が本筋ですから、どうぞ皆様には積極的にご意見をお寄せ下さり、奮って活動にご参加下さるようお願いいたします。

森づくり分科会（動植物調査分科会）
勝田佳代子

多摩美の森は周囲の雑木林とのつながりを考えて、植樹については多摩丘陵の潜在自然植生つまり土地本来の樹種を植えていくことにより、私たちの区の健康の森としての特色が出せると考えています。

手入れについては、ふれあいの森に続いている西側の雑木林とかなり茂ってきた北側の緩衝林、その手前の疎林を作るために植樹した所もそれぞれ手入れが必要です。そのために、雑木林の手入れについて専門家による勉強会をしたいと思っています。

また、広場のシンボルツリーのエノキは蝶の幼虫のためにもその木のためにも、根元をもっと大切にしたいと思います。

動植物調査分科会としては、秋に今年度 2 回目の自然観察会を予定しています。

畑の管理分科会 中谷一郎

本年度の畑の作付けは、上の「小さな畠」に小麦・大麦・ビール麦を栽培し、6 月には収穫、刈取り後、その畑を耕し、サツマイモ・サトイモの植付けを計画していましたが、ほぼ予定どおりに実施できました。6 月 7 日（土）に大麦の刈取り、はざかけ（麦の物干し乾燥）、11 日（水）に畑の耕耘、サツマイモの植付け（べにあずま 300 本）を行ないました。

15 日（日）にはサトイモの植付けをし、さらに、下の「お楽しみ谷」隣の小麦の刈取り、たばね、はざかけも完了することができました。それは 15 日には、うれしいことに、会員の親子と、サイクリングでこの森に見えた親子、遊歩道散策の親子が参加され、会員を含めて大勢で協力し、朝 9 時から昼を忘れ 2 時頃まで働いたお陰です。初めて参加されて、「楽しかった。これからも来たい」と早速会員になられた親子もおられました。



子供たちとサトイモの植付け 6 月 15 日

今後 9 月の西生田小学校の体験学習に向けてソバの種まきをします。また麦の乾燥後脱穀作業が待っており、世界的に高騰している小麦が昨年同様 25kg 以上も穫れて、「多摩美の森産小麦粉」として植樹祭・収穫祭のお土産用、バームクーヘン用に利用

できるようにと、サトイモ・サツマイモの豊作とともに期待しています。

若い会員の親子の方々が継続して来られるよう、意見を積極的に採り入れる交流会を2ヶ月に1回ぐらい開けないか、食事会を含め検討したいと思いますので、どしどしご意見をください。

施設工作分科会 伊丹伸行

施設工作分科会は本年度、「多摩美の森の家」の外周に砂利を敷くこと、藤棚の下のテーブルの補修等を計画しています。

は、「森の家」は雨が降ると周辺の泥が跳ね上がり、せっかくの新しい外壁が泥により汚れてしまいます。そこで周辺に溝を掘り、砂利を敷くものです。は、藤棚の下に設けられたテーブルは、角材を並べて作った丈夫で、自然の温もりのあるものですが、一部に腐りが出てきた所がありますので、腐った角材3、4本、および周りの切り株の椅子の一部を更新するものです。

広報分科会 木村信夫

本紙「麻生多摩美の森だより」21号から24号まで4回の発行と、年次報告書の作成を予定しているほか、各種イベントへの参加、タウン誌等への情報提供などを精力的に行い、さらなる会員の獲得に努めたいと考えています。また総会でも提案がありましたが、会員以外にも開放された教養講座、観察会などの企画に向けて、広報活動を充実させるべく検討中です。また、試作段階で止まっているホームページは、上記のような対外的な働きかけや交流の広がりにあわせて運用段階に入ることが課題です。

児童の体験学習支援 長澤

いまの子ども達は毎日、大変忙しい日程をこなしています。そのため、野外に出て、なおかつ緑に触れる活動はほとんどないと

いっていいのではないのでしょうか。

麻生区市民健康の森は、立地条件に恵まれ、野外体験学習に活用されやすい里山です。これまで当会では、小学生を対象に各種の体験学習の場を提供し指導に当たってきましたが、児童たちはどのように受けとめているのだろうか。

お礼の便りを見てみると、「そば処 櫛」でのプロのそば打ち見学では、予想もしなかった道具を使った力強く真剣な作業に感動し、自分もそば打ち職人になりたいという児童がいます。麦やそばの学習では、われわれの講義を真剣に吸収して、忘れられない体験として家庭で得意気に報告しているといえます。



西生田小3年生 そばの学習 07年9月

自然に触れ合う学習(ネイチャーゲーム、樹木の二酸化炭素吸収量測定環境学習)では、樹木や緑の大切さが改めて分かり、機会があればもっと体験学習をしたいという希望がたくさんありました。

私たち自身、児童たちが楽しく学び感動する姿に触れると、苦労が喜びとなり、明日からの活動のやりがいにつながります。今年も、五感で自然に触れて喜びと感動が得られ、豊かな感性が養えるような体験を目指して、樹木、草花、作物や季節などあらゆる自然を活用して、児童(小学3年、5年生)の体験学習を応援する計画です。皆様のご協力をお願いします。

藤棚 待ちに待った花をつけました！

文:伊丹伸行 写真:渡辺昭治

多摩美の森の象徴的存在である藤に待望の花が咲きました。

5月の連休には、2本の藤それぞれに200近くの見事な花房が下がり、下で憩う人たちの目を楽しませてくれました。この藤は早野聖地公園から切り出された檜を、会員の手で組み上げて作った藤棚に、4年前に植えられたものです。早く蔓が棚全体を覆い、花房をつけることが待ち望まれていましたが、以来四年が経ち、ようやくその願いが叶えられました。

今年中には蔓が棚全体を覆い、涼しい樹陰をつくってくれらるとともに、来年は一層多くの花房をつけ、公園の春の名物となることでしょう。



今後の活動予定 副会長 平林謙三

草木の燃え盛るように伸びる夏がやってきて、今年の活動も佳境に入ってきました。サツマイモやサトイモの植付けも終わり、秋の収穫祭が楽しみです。これからの活動日と作業予定は次の通りです。

- 7月 5日(土) ソバの播種、草刈りほか
- 7月 20日(日) 草刈り、樹木の剪定、清掃ほか
- 8月 2日(土) 草刈り、清掃、星空の観察会準備ほか
- 8月 9日(土) 18:00より 星空の観察会(曇雨天順延)
- 8月 17日(日) 草刈り、樹木の剪定、畑の手入れほか
- 9月 6日(土) 草刈り、樹木の剪定、畑の手入れ、栗の収穫ほか
- 9月 21日(日) 草刈り、樹木の剪定、畑の手入れほか
- 10月 4日(土) ソバの収穫ほか
- 10月 19日(日) サツマイモ、サトイモの収穫ほか

なお、補助作業日は毎月第2第4水曜日なので、7月9日、23日、8月13日、27日、9月10日、24日、10月8日、22日になります。

作業時間は、6~9月は9時~11時、そのほかは10~12時です。

統一ユニホーム作りにご参加下さい！ 「揃った服装で作業をしたい」との要望がありました。今年度の(財)都市緑化基金の助成金でそれが承認されました。そこで、早急に作業用のチョッキ類の調達検討を始めたいと思います。材質・デザイン・数量・価格等、会員各位のご提案をお願いします。助成金枠等の制約から数量は限定されますが、常時参加者数以上を確保するよう幹事一同努力します。

会員募集中です 貴方も仲間 緑に包まれて森づくり、親子いっしょの作業や自然体験も楽しい。どなたでも加入できます。年会費 1000 円。体験参加も歓迎。上記の活動日において下さい。

麻生区のホームページで、市民健康の森を紹介、本紙のバックナンバーも見られます。

<http://www.city.kawasaki.jp/73/73tisin/miryoku/sanka/mori.htm>

皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

問合せ・連絡先 勝田政吾 044-966-7409

木村信夫 044-954-7855 kimura-yatsu@nifty.com